

特定共同研究(A) (研究期間:平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画等のプロジェクトへの、全国の研究者の参加支援)

No.	課題番号	代表者名	所属機関	担当教員	研究課題	報告書
1	2015-A-02	末次 大輔	海洋研究開発機構地球深部ダイナミクス研究分野	歌田 久司	地球深部の構造とダイナミクス	報告書
2	2016-A-01 (1502)	安田 敦	東京大学地震研究所	企画部	揮発性成分定量による活火山爆発力ポテンシャル評価とマグマ溜まり深度の再決定	報告書
3	2016-A-01 (1509)	小原 一成	東京大学地震研究所	企画部	プレート境界すべり現象モニタリングに基づくプレート間カップリングの解明	報告書
4	2016-A-01 (1511)	鶴岡 弘	東京大学地震研究所	企画部	地震活動に基づく地震発生予測検証実験	報告書
5	2016-A-01 (2301)	八木原 寛	鹿児島大学大学院理工学研究科	企画部	海域と島嶼域における地震・地殻変動観測による南西島弧北部プレート境界域テクトニクスの観測研究	報告書
6	2016-A-01 (2501)	長尾 年恭	東海大学海洋研究所	企画部	電磁気的地震先行現象の観測と統計評価による他種の先行現象との比較	報告書

注 研究組織の所属等は現在は異なっている場合があります。

特定共同研究(B) (研究期間:平成28年4月1日-平成29年3月31日)

(全国的な規模のグループが実施する、地震予知・噴火予知計画等の事業費に基づかないプロジェクトで将来事業化を目指す計画)

No.	課題番号	新規 継続	代表者名	所属機関	担当教員	研究課題	報告書
1	2014-B-13	最終年度	佐藤 比呂志	東京大学地震研究所	石山 達也	日本列島のコミュニティ・ブロックモデルの構築	報告書
2	2014-B-15	最終年度	山本 真行	高知工科大学システム工学群	今西 祐一 市原 美恵 綿田 辰吾	地震波・微気圧波計測を融合した地殻・大気中現象の波源・規模推定	報告書
3	2014-B-16	最終年度	高橋 栄一	東京工業大学大学院理工学研究科	栗田 敬	巨大地震が励起する火山活動の活性化過程の研究	報告書
4	2014-B-17	最終年度	井上 邦雄	東北大学ニュートリノ科学研究センター	田中 宏幸	指向性を持つ小型反ニュートリノ検出器の開発とその素粒子地球物理創成への展開	報告書
5	2015-B-01	継続	小菅 正裕	弘前大学大学院理工学研究科	前田 拓人 小原 一成	地震波形解剖学の計算科学的新展開	報告書
6	2015-B-02	継続	小澤 拓	防災科学技術研究所観測・予測研究領域	青木 陽介	新世代合成開口レーダーを用いた地表変動研究	報告書
7	2015-B-04	継続	桑谷 立	海洋研究開発機構地球内部物質循環研究分野	長尾 大道	機械学習によるプレート境界岩の高次元地球化学データ解析	報告書
8	2016-B-01	新規	川勝 均	東京大学地震研究所	塩原 肇 竹尾 明子	太平洋アレイ (Pacific Array)	報告書
9	2016-B-03	新規	市原 美恵	東京大学地震研究所	市原 美恵	火山の空振モニタリング技術の確立	報告書
10	2016-B-04	新規	田中 宏幸	東京大学地震研究所	田中 宏幸	グローバルミュオグラフィネットワークの構築	報告書
11	2016-B-05	新規	平賀 岳彦	東京大学地震研究所	平賀 岳彦	地殻・マントル物性を明らかにするための実験基準試料の合成とその配布	報告書

No.	課題番号	新規 継続	代表者名	所属機関	担当教員	研究課題	報告書
12	2016-B-07	新規	波多野 恭弘	東京大学地震研究所	波多野 恭弘	地震断層の応力摂動に対する鋭敏性: その素過程	報告書
13	2016-B-08	新規	名和 一成	産業技術総合研究所 地質情報研究部門	今西 祐一	重力測定技術の高度化と新技術の活用による地球変動観測	報告書
14	2016-B-09	新規	松島 健	九州大学大学院理学 研究院	加藤 照之	GNSSを用いた大規模・稠密な地殻変動キャンペーン観測研究	報告書
15	2016-B-11	新規	伊藤 耕介	琉球大学理学部	福田 淳一	固体地球科学のシミュレーションモデルと観測データに適用可能なデータ同化法の開発	報告書
16	2016-B-12	新規	新谷 昌人	東京大学地震研究所	新谷 昌人 加藤 照之	高精度ひずみ観測ネットワークによる地殻活動モニター	報告書
17	2016-B-13	新規	木戸 元之	東北大学災害科学国際研究所	望月 公廣	ヒクラング沈み込み帯スロースリップ発生領域におけるプレート境界面運動のモデリング	報告書

注 研究組織の所属等は現在は異なっている場合があります。

特定共同研究(C) (研究期間:平成28年4月1日-平成29年3月31日)
(地震研究所が特別に認めた、共同利用経費以外の資金によって運営される共同研究プロジェクト)

No.	課題番号	代表者名	所属機関	担当教員	研究課題	報告書
1	2016-C-01	地震火山噴火 予知研究推進 センター長	東京大学地震研究所	地震火山噴火 予知研究推進 センター長	防災研究フォーラムによる地震火山研究 の推進	報告書
2	2016-C-02	木村 尚紀	防災科学技術研究所 観測・予測研究領域	平田 直	首都直下地震の地震ハザード・リスク予 測のための調査・研究	報告書

注 研究組織の所属等は現在は異なっている場合があります。

一般共同研究 (研究期間:平成28年4月1日-平成29年3月31日)
(所内外の研究者からなる少人数のグループで協力して進める共同研究)

No.	課題番号	代表者名	所属機関	担当教員	研究課題	報告書
1	2016-G-01	石橋 秀巳	静岡大学理学部	安田 敦	斜長石斑晶の元素拡散プロファイル解析に基づく、富士山のマグマ噴火タイムスケールの検討	報告書
2	2016-G-02	直井 誠	京都大学大学院工学研究科	中谷 正生	南アフリカ大深度金鉱山における微小破壊観測データを用いた岩盤中の亀裂形成プロセスと断層上の微小破壊活動様式の解明	報告書
3	2016-G-03	石原 靖	海洋研究開発機構地震津波海域観測研究開発センター	竹内 希	南鳥島における広帯域地震観測：準定常観測に向けた伊豆・小笠原海域の地震の検出と解析の安定性の評価	報告書
4	2016-G-04	小野 重明	海洋研究開発機構海洋掘削科学研究開発センター	三部 賢治	スラブ中の二酸化炭素マッピングに向けた比抵抗測定	報告書
5	2016-G-05	穀山 渉	産業技術総合研究所工学計測標準研究部門	新谷 昌人	広帯域地震計の感度の振動加速度一次標準による校正	報告書
6	2016-G-06	原田 靖	東海大学海洋学部	加藤 照之	稠密GPS観測網による東海地方地殻変動の簡易リアルタイム観測	報告書
7	2016-G-07	前田 裕太	名古屋大学大学院環境学研究科	武尾 実	浅間山VLPイベントに伴う短周期振動の解析	報告書
8	2016-G-08	藤 浩明	京都大学理学研究科	清水 久芳	球冠調和関数を用いた西太平洋域の地磁気永年変化推定	報告書
9	2016-G-09	後藤 和久	東北大学災害科学国際研究所	佐竹 健治	地質記録に基づく琉球海溝における古地震履歴の解明	報告書
10	2016-G-10	嶋野 岳人	常葉大学大学院環境防災研究科	安田 敦	玄武岩質～安山岩質テフラ試料の定量的記載法の確立	報告書
11	2016-G-11	神田 径	東京工業大学火山流体研究センター	小山 崇夫	比抵抗構造調査による草津白根火山のマグマ溜りの把握	報告書

No.	課題番号	代表者名	所属機関	担当教員	研究課題	報告書
12	2016-G-12	山口 覚	大阪市立大学大学院理学研究科	上嶋 誠	活断層下の低比抵抗領域から断層活動性を評価する手法開発の研究	報告書
13	2016-G-13	後藤 章夫	東北大学東北アジア研究センター	平賀 岳彦	溶岩流試料の室内実験による粘性係数測定と、野外観測値との比較に基づく、溶岩流流動機構の解明 - その4：伊豆大島三原山溶岩流 -	報告書
14	2016-G-14	内田 直希	東北大学大学院理学研究科	小原 一成	西南日本における様々なスローすべり現象の相互作用の研究	報告書
15	2016-G-15	金嶋 聡	九州大学大学院理学研究院	川勝 均	阿蘇火口における水蒸気爆発の長期間連続モニターに関する観測的研究	報告書
16	2016-G-16	加納 靖之	京都大学防災研究所	吉田 真吾	「新収日本地震史料」所収の改訂すべき史料事例集の作成	報告書
17	2016-G-17	長谷中 利昭	熊本大学大学院自然科学研究科	安田 敦	阿蘇-4火砕噴火および前駆噴火噴出物に含まれる鉱物中のメルト包有物の研究(2)	報告書
18	2016-G-18	柴田 知之	広島大学大学院理学研究科	中田 節也	富士火山、小御岳火山、先小御岳火山のマグマの成因	報告書
19	2016-G-19	中東 和夫	東京海洋大学大学改革準備室	蔵下 英司	豊後水道水ノ子島での地震観測	報告書
20	2016-G-20	大藤 茂	富山大学大学院理工学研究部	折橋 裕二	ジルコン年代学から見た北海道の白亜系の堆積場所とテクトニクス	報告書
21	2016-G-21	安東 淳一	広島大学大学院理学研究科	中井 俊一	平尾台に露出する破碎岩中に存在する地殻流体の起源の解明	報告書

注 研究組織の所属等は現在は異なっている場合があります。

研究集会 (研究期間:平成28年4月1日-平成29年3月31日)

(全国の研究者が地震・火山関連分野のテーマについて集中的に討議する研究会)

No.	課題番号	代表者名	所属機関	担当教員	研究集会名	開催日	報告書
1	2016-W-01	山田 真澄	京都大学防災研究所	鶴岡 弘	地震のリアルタイムモニタリングと情報の利活用	平成28年11月24日・25日	報告書
2	2016-W-02	鈴木 雄治郎	東京大学地震研究所	鈴木 雄治郎	火山現象のダイナミクス・素過程研究	平成28年12月21日	報告書
3	2016-W-03	高橋 努	海洋研究開発機構地震津波海域観測研究開発センター	古村 孝志	海洋 - 固体地球システムにおける波動現象と構造不均質性	平成28年8月30日・31日	報告書
4	2016-W-04	西田 究	東京大学地震研究所	小原 一成 佐竹 健治	Summer School on Earthquake Science 2016	平成28年7月24日～27日	報告書
5	2016-W-05	佐藤 比呂志	東京大学地震研究所	佐藤 比呂志 石山 達也	日本海・日本列島の地殻・マントル構造とその形成進化を探る	平成28年11月21日	報告書
6	2016-W-06	山岡 耕春	名古屋大学大学院環境学研究科	渡辺 俊樹 竹内 希昌人 新谷 昌人	地球内部構造の観測・監視技術の未来	平成29年3月13日・14日	報告書
7	2016-W-07	横尾 亮彦	京都大学大学院理学研究科	中田 節也 前野 深	阿蘇山の噴火活動・マグマ水蒸気爆発を理解する	平成29年2月27日・28日	報告書
8	2016-W-08	廣瀬 仁	神戸大学都市安全研究センター	小原 一成	スロー地震の発生メカニズムを探る：観測・調査・実験・理論・モデリングからの情報の統合化と巨大地震との関連性の解明を目指して	平成28年9月13日～15日	報告書
9	2016-W-09	堀 高峰	海洋研究開発機構地震津波海域観測研究開発センター	波多野 恭弘	室内実験と数値実験から探る地震活動の物理	平成29年3月29日	報告書
10	2016-W-10	松多 信尚	岡山大学大学院教育学研究科	石山 達也	進化する地形・地質学的アプローチによる活断層・古地震像の構築と地震発生予測の高度化	平成29年3月13日・14日	報告書

注 研究組織の所属等は現在は異なっている場合があります。

地震・火山噴火の解明と予測に関する公募研究(研究期間:平成28年4月1日 - 平成29年3月31日)

(災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画のうち、「1.地震・火山現象の解明のための研究」、「2.地震・火山噴火の予測のための研究」に関連する新規研究課題)

No.	課題番号	代表者名	所属機関	継続/ 新規	担当教員	研究課題	報告書
1	海溝1	知北 和久	北海道大学大学院理学研究院	継続	企画部	北海道太平洋岸の潟湖周辺の多点掘削に基づく巨大津波による砂州形成過程の理解	報告書
2	海溝2	渡邊 剛	北海道大学大学院理学研究院	継続	企画部	サンゴからなる津波石の骨格調査に基づく南西諸島周辺の津波履歴の解明	報告書
3	内陸1	松本 聡	九州大学大学院理学研究院	継続	企画部	短波長不均質構造推定による地震動即時予測高度化へ向けた試験的研究	報告書
4	火山1	大場 武	東海大学理学部	継続	企画部	火山ガス観測による箱根山等の熱水系構造解明と群発地震発生予測	報告書
5	火山2	伴 雅雄	山形大学理学部	継続	企画部	蔵王山、五色岳活動期のマグマ進化過程解明に関する研究	報告書
6	火山3	和田 恵治	北海道教育大学旭川校	新規	企画部	高頻度爆発的噴火履歴の摩周火山におけるマグマ供給系と噴火過程	報告書
7	火山4	楠本 成寿	富山大学大学院理工学研究部	新規	企画部	富山県弥陀ヶ原火山・地獄谷内での高精度地形測量と水準測量による地盤変動と表中温度の計測モニタリング	報告書
8	火山5	石崎 泰男	富山大学大学院理工学研究部	新規	企画部	草津白根火山の完新世噴火履歴の解明	報告書
9	先行1	織原 義明	東京学芸大学教育学部	継続	企画部	公的研究機関以外が所有する計測データを用いた地下水の地震先行現象調査	報告書
10	先行2	上田 誠也	東京大学地震研究所	継続	企画部	臨界現象の物理を背景としたナチュラルタイム概念による地震活動度解析	報告書
11	先行3	鴨川 仁	東京学芸大学教育学部	新規	企画部	地震先行VLF帯電磁波強度減少の統計的評価と発生メカニズムの解明	報告書

No.	課題番号	代表者名	所属機関	継続/ 新規	担当教員	研究課題	報告書
12	史料・考古1	蝦名 裕一	東北大学災害科学国際研究所	継続	企画部	旧気仙郡地域における歴史地震・津波に関する災害史料の収集とデータベース化	報告書
13	史料・考古2	林 晋	京都大学大学院文学研究科	継続	企画部	古地震のウェブを目指して～GIS機能をもったポータルサイトの構築	報告書
14	史料・考古3	津久井 雅志	千葉大学大学院理学研究科	新規	企画部	史料を用いた、雲仙寛政噴火と眉山崩壊の推移の解明	報告書
15	データベース 1	井ノ口 宗成	静岡大学情報学部	新規	企画部	包括的なハザード情報を活用した個人の避難計画策定支援データベース	報告書

注 研究組織の所属等は現在は異なっている場合があります。

平成28年度 共同利用採択一覧【高エネルギー素粒子地球物理学公募研究】
 (高エネルギー素粒子地球物理学に関連する技術開発研究課題)

No.	課題番号	代表者名	所属機関	継続/ 新規	担当教員	研究課題	報告書
1	2016-H-1	末永 弘	電力中央研究所地球 工学研究所	新規	田中 宏幸	孔井内ミュオグラフィ観測装置の開発を 目指したミュオンセンサーのダウンサイジ ング	報告書
2	2016-H-2	牛尾 知雄	大阪大学大学院工学 研究科	新規	田中 宏幸	フェイズドアレイレーダと組み合わせた火 山浅部からマグマ噴煙までのシームレス 観測を目指したハイブリッドミュオグラフィ 観測装置の実現に向けた技術開発	報告書
3	2016-H-3	宮本 英昭	東京大学大学院工学 系研究科	新規	田中 宏幸	超小型ミュオグラフィ観測装置の開発	報告書
4	2016-H-4	田中 宏幸	東京大学地震研究所	新規	田中 宏幸	可搬型ミュオグラフィ観測装置の鉄道、 高速道路橋梁等コンクリート適用可能性 の技術的検討	報告書

注 研究組織の所属等は現在は異なっている場合があります。